

部 局	豊中市伊丹市クリーンランド事務局	補 職	事務局長	氏 名	加嶋 隆
-----	------------------	-----	------	-----	------

1. 部局の使命

豊中、伊丹両市で唯一のごみ処理施設として、「安全・安心」への取り組みを継続し、環境に配慮した管理運営を行うとともに、限られた人材と財源を最大限に活用することで施設を安定稼働させ、良質な市民サービスを提供する。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針 取り組みの総括

方針	取り組みの総括
<p>(1) クリーンランド事業が豊中、伊丹両市民の日常生活に直結するものであることを強く認識し、</p> <ul style="list-style-type: none">①市民の安全・安心の確保②継続性・安定性の維持③市民との信頼関係の確保④市民の快適な暮らしの下支え <p>をもって、単なる「ごみ処理施設」ではなくエネルギーや資源を生み出す「森の中の再生工場」として良質な市民サービスを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none">施設の安定稼働に不可欠な定期補修工事の着実な実施とモニタリングや技術検討部会の取り組みを通して、より効率的で効果的な運転維持管理を行います。両市からの搬入物を適正に処理し、リサイクルを推進するとともに高効率発電を維持します。両市と協働し、「電力の地産地消」に取り組むとともに売電収入を確保します。各種環境学習メニューを提供するとともにクリーンランドひろばでのイベント開催などを通して、市民との交流を図り、クリーンランド事業の理解を深めます。自然災害など、突発的な災害の発生に備えるため、防災訓練を通して危機管理体制の強化を図ります。	<p>クリーンランド事業が豊中、伊丹両市民の日常生活に直結するものであることを強く認識し、単なる「ごみ処理施設」ではなく、エネルギーや資源を生み出す「森の中の再生工場」として良質な市民サービスを提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none">定期補修工事の実施、機器トラブルなどへの迅速対応、高効率発電を維持するとともに安全、安心な施設の稼働と運営を継続しました。環境基準を遵守し、環境保全と負担低減に寄与しました。両市と協働し、「電力の地産地消」に取り組むとともに売電収入を確保しました。環境学習や市民講座を実施するとともに、クリーンランドひろばを活用したイベントを実施することにより、学びや交流の場を市民に提供しました。自然災害など、突発的な災害の発生に備えるため、地震と火災を想定した訓練を実施しました。

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>ごみ焼却施設の安定稼働【重点】</p> <p>(1) 市民に信頼され、快適な暮らしを支える施設として安全で安心な稼働と運営を継続します。</p> <p>①定期補修工事の実施と機器設備の適正な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期補修工事の実施にあわせて、今後必要な基幹設備の改修と更新の手法を精査し、増大する定期補修工事に係るコストの削減をめざします。 各焼却炉、約40日間の補修工事（1号炉 4月8日~5月28日 2号炉 6月4日~7月23日 3号炉 9月18日~11月5日） 運転計画に基づいたごみ焼却業務を遂行するとともに機器トラブルに迅速に対応します。 工事内容をより精査することに加え、職員自らが実施できる補修については積極的にを行い、コスト削減と技術継承につなげます。 これらのことによりトラブルによる焼却炉の停止「0日」をめざします。 <p>②高効率発電の維持（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 発電効率20%以上を維持します。 売電収入8億円以上を確保します。 <p>③公害関連基準の遵守（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通じた施設の安定稼働を継続することにより、排ガス及び排水の各種法定基準の遵守はもとより、さらに厳しく設定した自主規制基準を遵守します。 	<p>①定期補修工事の実施と機器設備の適正な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期補修工事を計画通り実施しました。 運転計画に基づいたごみ焼却業務を遂行しました。 工事内容をより精査することに加え、職員自らが実施できる補修（自主補修）を積極的に行い、職員の技術・技能向上と費用の削減に努めました。 <p>②高効率発電の維持（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 発電効率20%以上を維持しました。〔実績：20.0%〕 売電収入8億円以上を確保しました。〔実績：9.6億円（見込）〕 <p>③公害関連基準の遵守（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通して排ガス及び排水の法定基準はもとより、さらに厳しく設定した自主規制基準を遵守しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の安定稼働を継続することにより、高効率発電の維持と公害関連基準の遵守に繋がります。 稼働後10年目を迎え、基幹設備の更新改修が必要なことから増大する定期補修工事費をいかに低減させるか。また、今後の両市負担金の平準化が課題です。
	<p>総合計画</p> <p>3-2- (2) 循環型社会の実現に向けた取組みを進めます</p>		
	<p>基本政策</p> <p>34 ゼロカーボンシティの実現</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	リサイクルプラザの安定稼働【重点】	<p>①稼働状況の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングと運營業務委託業者との情報共有を図り、施設の稼働状況と維持管理状況を把握しました。 <p>②発火事案による機器停止時間の短縮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊中市の小型家電製品等の分別収集に合わせて円滑な受入れ体制を維持するとともに、効果検証を行いました。 ・ホームページや分別アプリなどを活用し適正排出を啓発しました。 ・年間機器停止時間を150時間以内にすることを達成しました。 〔実績：83.5時間〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の安定稼働のため、モニタリングを継続し、運転状況と維持管理状況を把握します。 ・豊中市が開始した小型家電等の分別回収の検証を両市と情報共有し、更なる発火件数低減をめざします。
	<p>(1) 市民に信頼され、快適な暮らしを支える施設として安全で安心な稼働と運営を継続します。</p> <p>①稼働状況の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングと運營業務委託業者との情報共有を図り、施設の稼働状況と維持管理状況を把握します。 <p>②発火事案による機器停止時間の短縮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊中市が実施している小型家電製品等の分別収集の効果を検証し更なる分別収集の周知を図ります。 ・ホームページや分別アプリなどを活用し適正排出を啓発します。 ・これらのことにより年間機器停止時間を150時間以内にすることをめざします。 		
総合計画			
	3-2- (2) 循環型社会の実現に向けた取組みを進めます		
基本政策			
	34 ゼロカーボンシティの実現		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>環境保全と環境負荷低減</p> <p>(1) 未来の地球環境を見据えた環境保全と環境負担低減を図ります。</p> <p>①リサイクルの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルの水平リサイクルを実施することでCO2の排出抑制と化石燃料の使用削減を図り、環境負荷を低減させます。 <p>②高効率発電の維持(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電効率20%以上を維持します。 <p>③施設照明のLED化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度(2022年度)から3年計画で施設照明約3,000本をLED化することによりCO2排出量を各年度80トン、3年間合計240トン削減します。 <p>④電力の地産地消</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンランドで発電した電力を豊中、伊丹両市の小学校等公共施設に供給することにより、両市域のCO2排出量を削減します。 	<p>①リサイクルの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルの水平リサイクルに取り組み、CO2の排出抑制と化石燃料の使用削減を図り、環境負荷の低減に取り組みました。(7月～) <p>②高効率発電の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電効率20%以上を維持しました。〔実績:20.0%〕※再掲 <p>③施設照明のLED化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設照明1,000本をLED化しました。 <p>④電力の地産地消</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンランドで発電した電力を両市の小学校等公共施設に供給し市域のCO2排出量削減に寄与しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電力の地産地消、施設のLED化を進め、未来の地球環境を見据えた環境保全と環境負担低減に引き続き取り組みます。 ・電力の地産地消について、R7年度からFIT電力での供給を開始します。 ・CO2削減に向けた取組みとして、プラスチックごみ全量リサイクルについて検討を進めます。
	<p>総合計画</p> <p>3-2- (2) 循環型社会の実現に向けた取組みを進めます</p>		
<p>基本政策</p> <p>34 ゼロカーボンシティの実現</p>			

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	3Rの推進と市民との交流	<p>①環境学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSによる動画配信など多彩なメニューを活用し、引き続き環境学習の場を提供しました。 ※出前講座の実施(年6回) ※市民講座(月1回)・環境フォーラム(3月)の開催 ※Facebookによる情報発信の開始(7月～) <p>・豊中市・伊丹市の小学校の社会科見学(46校、4,504人)</p> <p>・展望フロア一般開放デーなど施設見学(8,016人)</p> <p>②クリーンランドひろば、展望フロアの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンランドひろばを活用し、環境学習に資するイベントの開催や、地域の団体へ発表の場を提供 ※ジョイントひろばの開催(5月・10月 2,441人) <p>・展望フロア一般開放デーの実施(月1回)</p> <p>※参加者アンケートの結果 『ごみの減量や分別に対する意識が高まった』回答割合：95%超</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多彩な環境学習メニューなどを提供し、市民のごみに対する意識の向上を図ります。 ・リサイクルプラザの安定稼働に影響を与える充電式電池や禁忌品の混入が課題となっており、両市と連携し、市民への分別徹底のさらなる周知・啓発に取り組みます。
	<p>(1) 市民に愛され親しまれる学びや交流の場を創造することにより、市民のクリーンランド事業への理解を深めます。</p> <p>①環境学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSによる動画配信や各種イベントを活用し、市民に「ごみ減量と分別の必要性」について「気づき」の場を提供します。 ※市民講座開催及び動画配信(月1回) ・両市の全小学校の社会科見学や展望フロア開放デーなど施設見学を通してクリーンランド事業と環境負荷低減の理解を深めます。 ※小学校の社会見学(豊中市39校・伊丹市17校) ※施設見学者数8,000人以上 <p>②クリーンランドひろばや展望フロアの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンランドひろばを活用し、環境学習に資するイベントの開催や団体等へ発表の場を提供し、市民との交流を深めます。 ※ジョイントひろばの開催(年2回) ・展望フロア開放デーの実施を継続するとともに、航空会社との協働企画など魅力あるイベントを開催します。 ※展望フロア開放デーの開催(月1回) 		
総合計画			
	3-2- (2) 循環型社会の実現に向けた取組みを進めます		
基本政策			
	34 ゼロカーボンシティの実現		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	<p>危機事態に対応する備え</p> <p>(1) 地震や風水害などの突発的な災害に備え、施設の安定稼働を継続します。</p> <p>①各種訓練とマニュアルの見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンランド危機管理方針に基づき作成した各種マニュアルの検証や防災訓練の実施を通して、災害に対する職員の意識と対応力を向上させます。 ※総合防災訓練(年1回) ※地震を想定した防災訓練(年1回) ※浸水防止止水板の設置研修(年1回) ※マニュアルの点検と見直し(年1回) <p>②災害ごみ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「災害ごみ」の受入れ・処理体制について両市と協議・検討を進めるとともに災害(防災)訓練などの機会を捉えて災害ごみに係る具体的な対応を確認するなど突発的な事態に備えます。 	<p>①各種訓練とマニュアルの見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を実施するとともに、実施後の振り返りを踏まえ各種マニュアルの検証と見直しを実施しました。 ※総合防災訓練(12月) ※地震を想定した防災訓練(9月) ※浸水防止止水板の設置研修(5月) ※マニュアルの検証と見直し(8月) <p>②災害ごみ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「災害ごみ」の受入れ・処理体制について災害(防災)訓練時などの機会を捉えて具体的な対応を確認しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種訓練を継続して実施するとともに、PDCAに基づくマニュアルの検証と見直しに取り組み、災害時における施設の安定稼働をめざします。
	<p>総合計画</p> <p>2-4- (1) 防災力の充実強化を図ります</p>		
<p>基本政策</p> <p>26 強靱なまちづくりの推進</p>			

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	<p>人づくり・組織づくり</p> <p>(1) 持続可能な運営基盤を確立するために「市民視点」「未来志向」「チームプレー」で質の高い市民サービスをめざせる「人づくり」「組織づくり」に取り組みます。 また、エンゲージメントを向上させるために、仕事に誇りとやりがいを持ち、「楽しい」と思える職場をめざします。</p> <p>①資格・免許の計画的な取得 ・「資格取得に係る人材育成計画」に基づき、職種や年齢構成などを勘案した資格と免許の取得を推進し、将来においても安定稼働ができる体制を維持します。(通年)</p> <p>②技術検討部会の開催継続 ・「技術検討部会」の開催を継続し、施設稼働に関してテーマを定めて調査研究し、その成果を共有することで、より良い施設の維持管理につなげます。 ※技術検討部会の開催(年2回以上)</p> <p>③協力と協働の職場づくり(通年) ・職員間の円滑なコミュニケーションを大切にするとともに、ミーティングや会議の場を通じて全職員が同じ目的に向かって協力・協働する意識を醸成します。 また、非常時など大きな課題が発生したときは、全職員で対応する風土を醸成します。 ※朝礼・夕礼の開催(毎日) ※調整会議<管理職会議>の開催(毎月) ※危機管理対策会議の開催(随時) ※防災訓練の開催(年2回) ※職員表彰(年1回)</p>	<p>①資格・免許の計画的な取得 ・「資格取得に係る人材育成計画」に基づき、資格・免許の取得を推進しました。(取得者数17人)</p> <p>②技術検討部会の開催継続 ・「技術検討部会」の開催を継続し職員の技術・技能向上に取り組みました。 ※技術検討部会の開催(6月・9月・3月)</p> <p>③協力と協働の職場づくり ・ミーティングや会議の場を通じて全職員が同じ目的に向かって協力・協働する意識と、非常時など大きな課題が発生した場合に、全職員で対応する風土の醸成に取り組みました。 ※朝礼・夕礼の開催(毎日) ※調整会議<管理職会議>の開催(毎月) ※危機管理対策会議の開催(4月・3月) ※防災訓練の開催(5月・9月・12月) ※職員表彰の実施(2名)</p>	<p>・今後増大する施設の補修工事に対応するため、プラントメーカーとの調整能力と自主改修に対応できる技術・技能の向上を図る必要があります。</p> <p>・危機管理も含め、施設運営に関わる諸課題に臨機かつ柔軟に対応できる職員の育成、職場づくりに取り組みます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>5-2- (1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます</p>		
	<p>基本政策</p> <p>65 職員力を高める人材育成等の推進</p>		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>施設の安定稼働</p> <p>(1) 市民に信頼され、快適な暮らしを支える施設として安全で安心な稼働と運営を継続し、機器トラブルによる設備停止0(ゼロ)をめざします。</p> <p>(2) 適正な維持管理を継続し、高効率発電(発電効率20%以上)を維持するとともに公害関連基準を遵守します。</p> <p>(3) リサイクル施設については、資源化率の向上とともに、モニタリング業務や委託事業者との情報共有と搬入ごみの適正化などを通して安定稼働を図り、発火検知による年間機器停止時間を150時間以内をすることをめざします。</p>	○継続して実施
総合計画		
3-2-	(2) 循環型社会の実現に向けた取組みを進めます	
基本政策		
34	ゼロカーボンシティの実現	
2	<p>C02排出抑制</p> <p>(1) プラスチックごみの全量リサイクルについて国や各種団体の動向を注視するとともに、両市と実施に向けた検討を行います。</p> <p>(2) C02排出抑制に係る機器類等の調査・検討を行います。</p> <p>(3) ペットボトルの水平リサイクルを推進します。</p> <p>(4) クリーンランド電力の地産地消事業に取り組みます。</p>	○継続して実施
総合計画		
3-2-	(2) 循環型社会の実現に向けた取組みを進めます	
基本政策		
34	ゼロカーボンシティの実現	